

令和5年度の予算編成に向け 新規7項目を含む全34項目を要望!

去る9月6日に私たち会派 改革フォーラムは、令和5年度の予算編成作業に向けた政策・予算の要望書を岩倉市長に提出いたしました。

この政策・予算の要望は平成25年度から実施しており、今回で10年目となります。この間、私たちが提案した多くの項目が実際の政策や事業として実現しており、その実績に手応えを感じています。

苦小牧市は、少子・高齢化に伴う人口の減少に加え、3年間に及ぶ新型コロナウイルス感染症拡大が様々な分野に影響を及ぼしています。加えて、ロシアのウクライナ侵略による世界的な物流の停滞、エネルギー資源の高騰と急激な円安によって資源の多くを輸入に頼る日本では物価の上昇が続くことが予想され、急激なインフレへの緩和措置対応とともにコロナ感染症の5類相当への分類引き下げへの変更などの過渡期対応も求められています。

これらの状況を踏まえ、私たち

改革フォーラム 市政レポート

令和三年度下期号

苦小牧市議会
会派改革フォーラム市政報告
連絡先：苦小牧市旭町4-5-6
0144-32-6785



市長へ要望書を提出
左から首藤、越川、牧田、松井

会派 改革フォーラムは、カーボンニュートラル、アフターコロナを見据えた地域経済対策、企業誘致等による安定的な雇用の創出、教育及び子育て環境の整備などの課題を確認しながら、行財政改革や市民の安全と安心の観点、そして何より、市民が苦小牧に住んでいて良かったと思える「まちづくり」の可能性を追求し、検討を重ねこの度の要望書提出に至りました。

引き続き、市民の皆さまのご意見をお聞かせいただき、積極的な議会議論を通じて市政に反映させてまいりますので、何かお気づきの際は、改革フォーラムの各議員にご連絡いただきましますよう、よろしくお願い申し上げます。

新規項目

- ① 苦小牧市民文化ホールの利用料減免・助成制度
- ② エゾシカ被害対策の強化
- ③ 乳幼児医療費助成の拡大
- ④ 健康寿命延伸の取り組み
- ⑤ 地域資源(ホッキ)の活用による賑わいの創出
- ⑥ ウトナイ地区への新公園設置
- ⑦ 実用英語技能検定(英検)受験費用の助成

実現及び方向性が示された項目

- ① 室内ゲートボール場の多目的化への改修
- ② こども食堂等への財政支援
- ③ とまチョップポイント事業の見直し



発展する苦小牧と共に豊かな暮らしを実現します。

牧田としゆき

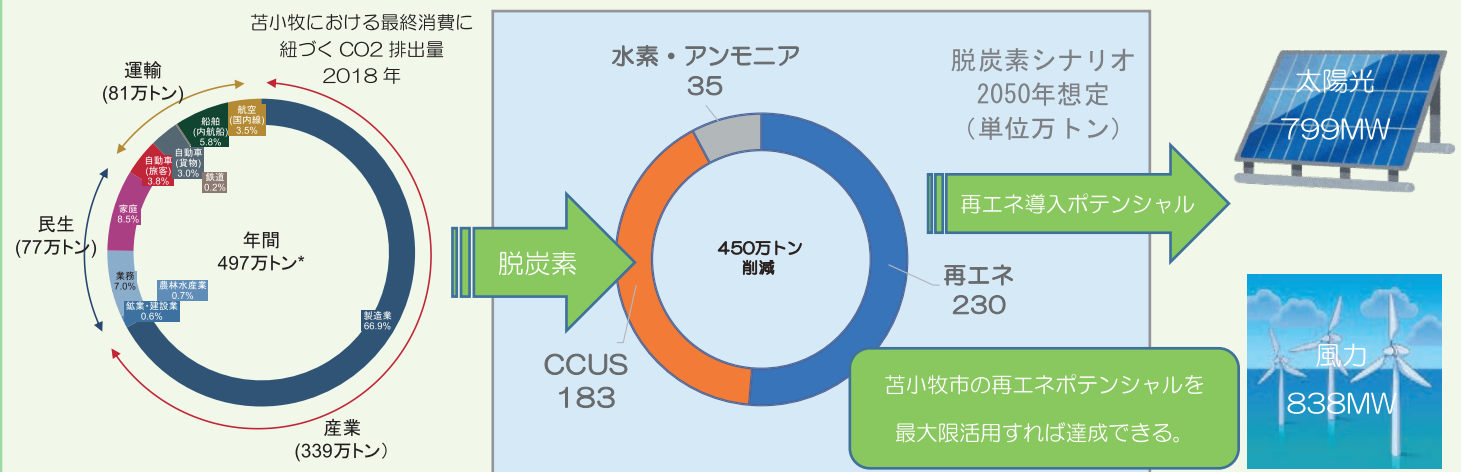
市政報告

〒059-1301
苦小牧市東開町2丁目4-27
携帯 090-2077-6544

主な役職：安全・安心及び市民ホールに関する
特別委員会 委員長
：苦小牧連合議員団会議会長
：東開町内会副会長

・ゼロカーボン推進 — 再生可能エネルギー基本戦略について

6月議会一般質問



Q 太陽光未利用地導入可能799MWとは面積にするとどの程度の広さ?

A 設置にあたっては1,740Ha程度の用地が必要

〔苦小牧市の都市計画での臨港地区の面積1,760Haと同等〕

Q 風力発電838MWは最新の大型風力発電何基必要で面積はどの程度か

A 1基あたり15MWとして56基必要。想定した場合は、4万Ha程度と想定している。(洋上風力を想定)

〔苦小牧市の面積は約5万6千Ha、その7割に相当する広さ〕

Q 太陽光パネル、大型風力発電設備、国内で生産しているのか?

A 一部国内で生産している企業があるが、大部分は海外製

Q 再エネ導入を進めると貴重な税金を海外の製品購入に充ててことに抵抗を感じる。いっそ水素の活用を検討すべきではないか

A 水素の利活用に向けた取組をより具体化できるよう検討する

Q 産業都市苦小牧、CO2の67%を製造業で排出している。カーボンリサイクルへの取組のアピールすることが大事と考えるが

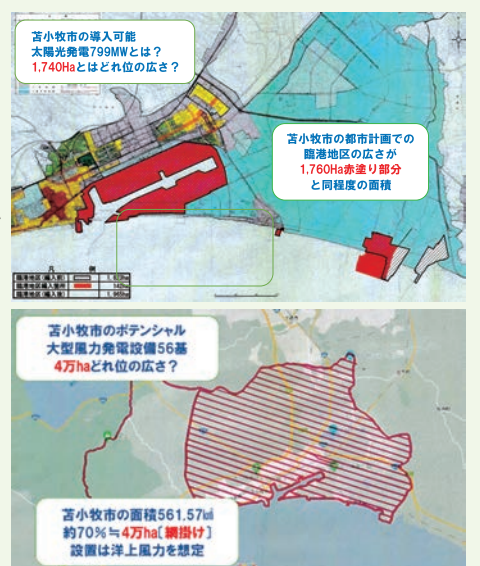
A 再エネ、CCUS、カーボンリサイクル、水素、アンモニアそれぞれに取組んでいく必要があると考えている。

・財政 — 公募型プロポーザルについて

・行政改革 — 放課後児童クラブ業務の民間委託について

以上3点について質疑を行いました。

9月議会は市長改選後の代表質問のみ行われました。



カーボンリサイクル

・カーボンリサイクル CO2を資源として捉え、これを分離・回収し、鉱物化によりコンクリート等、人口光合成等により化学品、メタネーション等により燃料へ再利用し、大気中へのCO2排出を抑制。

1. 化学品
 - ・食糧加工物(ポリカーボネート、ウレタンなど)
 - ・バイオマス由来化学品
 - ・汎用物質(オレフィン、BTXなど)
2. 燃料
 - ・液体燃料①(合成燃料 e-fuel SAF)
 - ・液体燃料②(微細藻類/バイオ燃料: SAF、ディーゼル)
 - ・液体燃料③(バイオ燃料(微細藻類を食料)・MTGエタノールなど)
 - ・ガス燃料(メタン、プロパン、ジメチルエーテル)
3. 鉱物
 - ・コンクリート、セメント、炭酸塩、炭素、炭化物など
4. その他
 - ・ネガティブエミッション(BECCS、ブルーカーボン/マリンバイオマス、風化促進、植物利用など)